

完了後の評価個表

整理番号 森10-1

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	熊本県
地区名	やつしろ市 八代市	事業実施主体	八代市、八代森林組合等
関係市町村	八代市	管理主体	八代市、八代森林組合等
事業実施期間	H15～H19（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 八代市は、九州西岸のほぼ中央に位置し、市域は東西50km、南北25kmで、東は九州山地の脊梁地帯を形成し宮崎県に境を接し、西は日本三急流の一つである球磨川の河口に形成された八代平野が、不知火で有名な八代海を隔てて天草諸島と対峙する。</p> <p>② 森林の状況 本市の総面積は68,022haであり、そのうち森林面積が50,489haで総面積の約74%を占め、そのうち民有林面積は40,550haで、そのうち人工林面積は27,515haとなっており、人工林率は約68%となっている。民有林においては、人工林の造成という所期の目的は達成され、森林資源の成熟度は人工林を中心に着実に高まってきており、森林の造成から森林資源の質的な充実段階を経て収穫すべき段階を迎えている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 多様な公益的機能の発揮に対する市民の要請や木材需要に対応するための伐期に達した人工林の積極的な主伐による林齢構成の平準化及び公益的機能を維持する為に長伐期施業や育成複層林施業を実施する。 また、路網整備については木材生産性の向上及び労働の軽減を図るため、高性能林業機械を主体とする林業機械の導入により、機械作業に必要な作業ポイント等の施設の整備を促進する。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽 325ha、下刈 1,235ha、除・間伐 3,109ha、 鳥獣被害防止施設 8,811本・18,472m 路網整備 作業路35,220m 総事業費 1,256,042千円 (当初総事業費 1,226,698千円)</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 なお、事業内容の変更に伴い事業採択時に比べ総事業費・総費用が増加し、施業面積（便益発生対象区域）の増加により総便益が増加となった。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">総便益 (B)</td> <td style="width: 30%;">29,143,540千円</td> <td style="width: 30%;">(事業採択時 22,323,970千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>6,301,130千円</td> <td>(事業採択時 5,889,712千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>4.63</td> <td>(事業採択時 3.79)</td> </tr> </table>	総便益 (B)	29,143,540千円	(事業採択時 22,323,970千円)	総費用 (C)	6,301,130千円	(事業採択時 5,889,712千円)	分析結果 (B/C)	4.63	(事業採択時 3.79)
総便益 (B)	29,143,540千円	(事業採択時 22,323,970千円)								
総費用 (C)	6,301,130千円	(事業採択時 5,889,712千円)								
分析結果 (B/C)	4.63	(事業採択時 3.79)								

② 事業効果の発現状況	<p>① 作業路等の整備により、整備森林へのアクセス時間短縮（27分）が図られ、要間伐森林の整備が進んだ。</p> <p>② 作業路の開設により、間伐・保育などが適正に実施できるようになった。</p> <p>③ 旧坂本村深水地区において、毎年、球磨川が増水し生活道が通行不能となり、孤立する集落が発生していたが、路網整備により孤立の解消がなされた。</p> <p>④ 事業実施による林道の利便性向上に伴い、円滑な森林施業及び木材の搬出等を実施することが出来、森林整備が促進された。</p> <p>⑤ 本事業の実施に伴い、森林へのアクセスが容易になったことで、森林所有者の森林経営に対する関心が高まった。</p>
-------------	---

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業により開設された作業道は、地域住民による管理組合に維持管理されている。地元住民による年2回の草刈や側溝掃除等が行われており、維持管理状況はおおむね良好である。</p>
---------------------	---

<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林組合による伐採や植栽、除伐・間伐等の実施面積が開設前と比べ34%増加するなど、森林施業の実施に対する意欲が向上してきている。 森林整備が実施され林内の明るい単層林や複層林、針広混交林が整備され、森林の景観が向上してきている。 林道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>森林組合による伐採や植栽、除伐・間伐等の実施面積が開設前と比べ34%増加するなど、森林施業の実施に対する意欲が向上してきている。 森林整備が実施され林内の明るい単層林や複層林、針広混交林が整備され、森林の景観が向上してきている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林施業の実施に対する意欲が徐々に増進されてきているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況であることから、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>(地元の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林整備事業実施による土砂流出の防止、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 森林整備が促進され、土砂流出の防止・水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与するなど、当事業の効果が発揮されていること。 森林の整備及び基盤となる路網の整備が総合的に実施されていること。 以上のことから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備及び作業道の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 作業道整備により、森林へのアクセスが容易になり、森林整備を実施するコストも縮減されることから、今後も事業効果の発現が見込まれていること。 森林整備により、森林の景観が向上してきていること。 以上のことから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

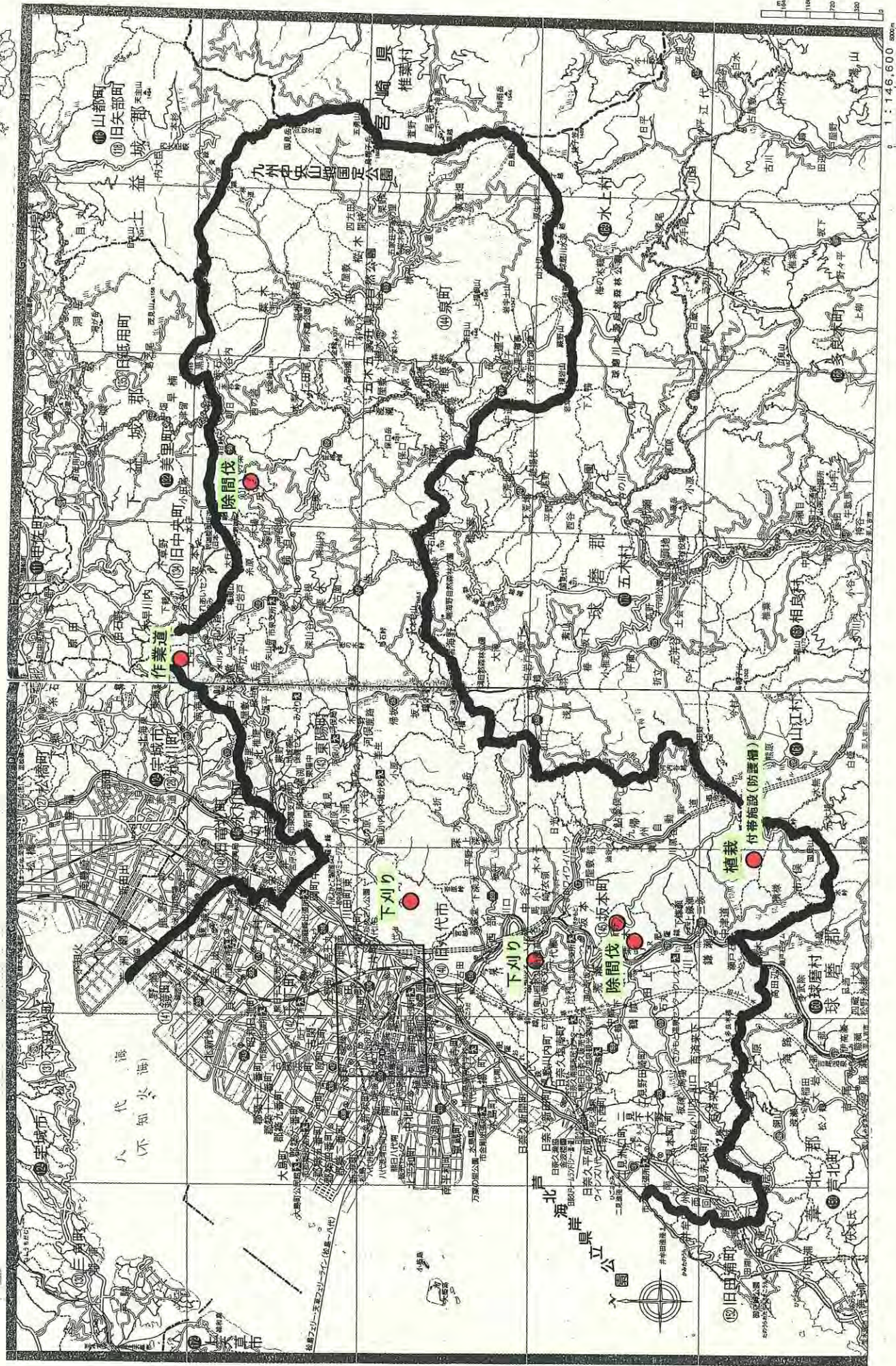
都道府県名:熊本県

地域(地区)名:^{やつしろし}八代市

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	5,221,266	
	流域貯水便益	1,354,487	
	水質浄化便益	2,823,002	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,355,109	
	土砂崩壊防止便益	26,570	
環境保全便益	炭素固定便益	7,230,963	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	8,132,143	
総 便 益 (B)		29,143,540	
総 費 用 (C)		6,301,130	
費用便益比	$B \div C = \frac{29,143,540}{6,301,130} = 4.63$		

森林環境保全整備事業 八代市地区 位置図 (熊本県)



二万五千里
680,600M

0 1:146,600 2000m